

自動車アセスメント

衝突安全性能評価

事故時に人を守る技術



2018.3

より安全な車を選びましょう!



国土交通省



独立行政法人自動車事故対策機構

自動車アセスメントの結果を活用して、より安全な車を選びましょう!

独立行政法人自動車事故対策機構（NASVA）は、自動車事故の被害者となられた方々の支援を行う一方、自動車アセスメント事業などの自動車事故の被害者を減らすための事故防止の取り組みを行っています。このためNASVAは、歩行者、自転車に乗っている方、自動車に乗っている方など、自動車事故の被害者となり得る全ての方の立場で、自動車アセスメントによる自動車の安全性能評価を充実させていくこととしています。

具体的には、事故データの分析結果に基づき、自動車事故の被害者が多い事故形態を優先して自動車アセスメントの評価項目案として選定しています。そして、事故の被害を削減する効果が高いものに対して、より高い評価を与えるとともに、自動車メーカーが技術開発により一層の安全性能の向上を行った場合に、さらに高い評価を与えられるように試験・評価方法案を作っています。

また、国土交通省において決定された自動車アセスメントの評価項目とその試験・評価方法に基づき実施された評価の結果を、このパンフレットなどにより周知することによって、自動車を購入される際により安全な自動車を選んでいただけるように取り組んでいます。

より安全な車選びのためのチェックリスト（衝突安全性能）

自動車を購入される時には、自分や家族の好みや用途、また、コストの面から燃費性能を気にされる方が多いと思います。

しかし、万が一のときに事故から助けてくれる自動車の安全性能も大事だとは思いませんか？実は、今は自動車の安全性能を比較するなどして、より安全なクルマが選べるようになっています。

このチェックリストを活用して、より安全なクルマ選びに使用してください！

1



自動車は、事故が起きると、運転している方だけでなく、歩行者や自転車に乗っている方にも大きな被害を与えることがあります。

あなたの自動車が事故に遭うことを考えられたことはありますか？

2



お選びになった自動車には、サイドカーテンエアバッグなどの安全装置が備えられていますか？

3



シートベルトは、自動車が衝突した場合に大きな被害を受けるのを防いでくれるものです。自動車に乗っている人が簡単にシートベルトを締められるよう、シートベルトは全ての座席で使いやすくなっていますか？

4



自動車アセスメントのパンフレットやホームページの情報で、予防安全性能・衝突安全性能がともに良い自動車を選びましたか？

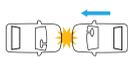
自動車アセスメントにおける 衝突安全性能評価等の試験・評価内容

自動車アセスメントでは、次のような試験を実施し、その試験結果をもとに評価を行っています。

乗員及び歩行者の交通事故実態を勘案し、平成23年度より乗員保護性能に歩行者保護性能を加えた衝突安全性能評価を行い、その結果を1☆から5☆までの表示により公表しています。

1 乗員保護性能評価

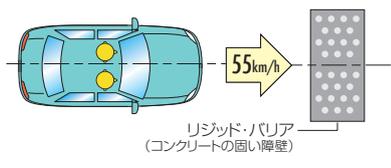
(1) フルラップ前面衝突試験



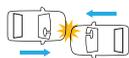
運転席と助手席にダミーを乗せた試験車を、時速55kmでコンクリート製の障壁（バリア）に正面衝突させます。そのときダミーの頭部、胸部等に受けた衝撃や室内の変形をもとに、乗員保護性能の度合いを評価します。



この試験は同じ車同士が正面衝突したことを模擬しています。



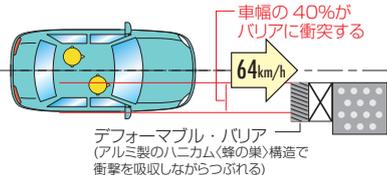
(2) オフセット前面衝突試験



運転席と後部座席にダミーを乗せた試験車を、時速64kmでアルミハニカムに運転席側の一部（オーバーラップ率40%）を前面衝突させます。そのときダミーの頭部、胸部等に受けた衝撃や室内の変形をもとに、乗員保護性能の度合いを評価します。



この試験は衝突を避けようとして車の半分が対向車に時速55kmで衝突したことを模擬しています。



後席に乗せた女性ダミー

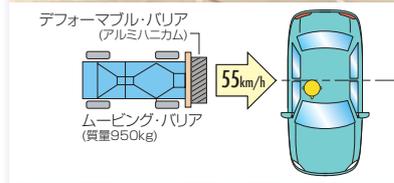
(3) 側面衝突試験



運転席にダミーを乗せた静止状態の試験車の運転席側に、質量950kgの台車を時速55kmで衝突させます。そのときダミーの頭部、胸部、腹部、腰部に受けた衝撃をもとに、乗員保護性能の度合いを評価します。



この試験は950kgの車が車の側面に衝突したことを模擬しています。



(4) 感電保護性能評価試験

ハイブリッド自動車等の衝突試験後の「感電保護性能要件」について評価します。

これは衝突後に乗員や救助者が高電圧部分に触れて感電しないことを評価するものです。



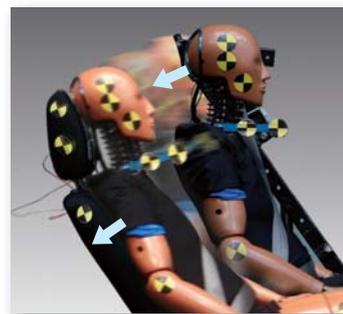
感電保護性能評価試験を実施し、評価基準に適合した車に付すマーク

(5) 後面衝突頸部保護性能試験



後面衝突を再現できる試験機を用いて、衝突された際の衝撃（速度変化等）をダミーを乗せた運転席または助手席に与えます。そのときの頸部が受ける衝撃をもとに、頸部保護性能を評価します。

この試験は停車中の車に時速約36kmで後面から車が衝突した（座席が前に時速20kmで急激に動く）際の衝撃を模擬しています。



2 歩行者保護性能評価

(1) 頭部保護性能試験

人の頭部を模擬したダミー（頭部インパクト）を衝撃装置により試験車のボンネット等に向けて時速40km（自動車の衝突速度は時速50km相当）で発射させ、衝撃点における頭部の傷害値を計測して、頭部の傷害の程度を5段階で評価しています。

この試験は歩行者が車に衝突し、歩行者の頭部がボンネットやフロントガラスに衝突したことを模擬しています。

なお、平成27年度までは、時速35km（自動車の衝突速度は時速44km相当）で実施しています。



(2) 脚部保護性能試験

大人の男性の脚部を模擬したダミー（脚部インパクト）を衝撃装置により試験車のバンパに向けて時速40kmで発射させ、衝撃点における膝部や脛部の傷害値を計測して、脚部の傷害の程度を5段階で評価しています。

この試験は歩行者が車に衝突し、歩行者の脚部がバンパ等に衝突したことを模擬しています。

なお、平成27年度までは、脚部の傷害の程度を4段階で評価しています。



3 シートベルトの着用警報装置

シートベルトの着用警報装置は、運転者以外の乗員のシートベルトの着用を促すことでシートベルトの着用率の向上を図るものです。

試験では、当該装置の作動要件（警報の種類、タイミング及び表示位置等）を確認しています。



シートベルトの着用警報装置

4 その他の評価

(1) 後席シートベルト使用性評価試験

衝突事故の際に最も有効な乗員保護装置であるシートベルトのうち後席シートベルト（窓側座席の標準位置及び最前位置）について、誰でも容易に装着できるように、シートベルトのアクセス性や快適性等の4項目によって評価しています。



5 衝突安全性能評価

(1) 衝突安全性能評価〔平成22年度までの評価方法〕^{※1}

運転席に関しては、フルラップ前面衝突試験、オフセット前面衝突試験、側面衝突試験の3種類の衝突試験結果の各々の点数を合計し、6段階で評価します。助手席に関しては、フルラップ前面衝突試験、側面衝突試験（運転席または助手席の試験結果を用いる）の2種類の衝突試験結果の各々の点数を合計し、6段階で評価しています。

また、側面衝突試験においてサイドカーテンエアバッグの展開範囲及び展開状況について評価を行い、試験方法に定める基準に適合している場合に評価の数字右肩に「+」を表示します。 ※1 平成27年度までは「衝突安全性能総合評価」と表示していました。

(2) 衝突安全性能評価〔平成23年度からの評価方法〕^{※2}

自動車の総合的な安全性能を評価し、その結果を1☆から5☆までの表示により公表しています。

乗員保護性能評価と歩行者保護性能評価の結果について事故実態を踏まえた重み係数を掛けた上で点数を加算し、シートベルトの着用警報装置評価（8点満点に換算）の合計で評価します。

下表のとおり5段階評価を行います。ただし最高評価の5☆となるためには乗員保護性能評価に係る各々の試験及び歩行者頭部保護性能試験においてレベル4以上、歩行者脚部保護性能試験においてはレベル3以上が必要です。

なお、平成28年度より歩行者保護性能評価の試験方法及び評価方法が変更されたことに伴い、平成28年度の評価結果は、平成23年度から平成27年度までの評価と同等となるように補正係数を掛けた上で1☆から5☆までの表示により公表しています。

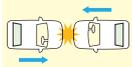
※2 平成27年度までは「新・安全性能総合評価」と表示していました。

【衝突安全性能評価の概要】

1 乗員保護性能試験

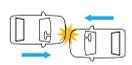
試験の得点 重み係数 総合得点

1フルラップ



運and助 × 1.250 = 0~30点
0~12点

2オフセット



運and後 × 1.250 = 0~30点
0~12点

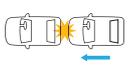
3側面衝突



運and助 × 1.042 = 0~25点
0~12点

※ サイドカーテンエアバッグが未装備の場合、座席ごとに試験結果の得点から3.5点づつ減点した得点

4後面衝突



運and助 × 0.625 = 0~15点
0~12点

※ (運)運転席、(助)助手席、(後)後部座席

乗員保護性能評価(100点満点)

2 歩行者保護性能試験

1頭部保護



試験の得点 重み係数 総合得点

0~4点 × 18.75 = 0~75点

2脚部保護



試験の得点 重み係数 速度換算係数 総合得点

0~4点 × 6.25 × 0.95 = 0~25点

※1 試験速度を見直すまでの適用とする。

歩行者保護性能評価(100点満点)

3 シートベルトの着用警報装置評価



試験の得点 0~100点
重み係数 × 0.08
総合得点 || 0~8点



シートベルトの着用警報装置評価(8点満点)

衝突安全性能評価：208点満点

(公表方法)

170.0点以上	★★★★★★
150.0点以上170.0点未満	★★★★★
130.0点以上150.0点未満	★★★★
110.0点以上130.0点未満	★★★
110.0点未満	★

【★★★★★★の必要条件】

★★★★★★を取得するためには、1乗員保護性能試験及び2-1歩行者頭部保護性能試験においてレベル4以上、2-2歩行者脚部保護性能試験においてレベル3以上が必要。

なお、平成23年度の後面衝突頸部保護性能試験では薄緑色または緑色が必要。

2018年3月末時点で生産・販売中の車種のみ掲載

掲載車種索引 (五十音順、赤色の文字のクルマは2017年度試験実施車種)

スズキ		ダイハツ		トヨタ		ヴォクシー(SCA付)	
アルト	32	アトレーワゴン	36	アクア	20	ヴォクシー	16
アルト ラパン	32	ウェイク	36	アリオン	22	エスクァイア	18
イグニス	30	キャスト シリーズ	34	アルファード	16	エスクァイア(SCA付)	16
エブリイ	32	タント	34	ヴィッツ	20	エステイマ	22
ジムニー	34	タント カスタム	34	ヴェルファイア	16	カロラ アクシオ	18
スイフト	30	トール	18	ヴォクシー	18	カロラ フィールド	18
スペーシア	32	トール(SCA付)	16			クラウン アスリート	14
スペーシアカスタム	32	ハイゼット	36			クラウン ロイヤル	14
ソリオ	32	ブーン	18			シエンタ	20
ソリオバンディット	32	ブーン(SCA付)	16			シエンタ(SCA付)	18
ハスラー	32	ミライース	34			スペイド	20
ランディ	24	ムーヴ	34			タンク	18
ワゴンR	32	ムーヴ カスタム	34			タンク(SCA付)	16
ワゴンRスティングレー	32	ムーヴキャンバス	34			ノア	18
						ノア(SCA付)	16
スバル		トヨタ		トヨタ		トヨタ	
インプレッサ	12	アクア	20	プリウス	16	パッソ	18
エクシーガ	12	アリオン	22	プリウスa	18	パッソ(SCA付)	16
シフォン	34	アルファード	16	プレミオ	22	ハリアー	16
シフォン カスタム	34	ヴェイター	20	プロボックスバン	36	ピクシス エポック	34
ジャスティ	18	ヴェルファイア	16	ボルテ	20	ピクシス ジョイ	34
ジャスティ(SCA付)	16	ヴォクシー	18	マークX	20	ピクシス メガ	36
ステラ	34			ランドクルーザープラド	20	プリウス	16
ステラ カスタム	34					プリウス PHV	16
フォレスター	12					プリウスα	18
フォレスター(SCA付)	12						
プレオ プラス	34						

評価の見方

1 試験車の種類

- 軽自動車
- 商用車
- 乗用車・電気自動車等

2 サイドカーテンエアバッグ評価の実施

側面衝突試験において、サイドカーテンエアバッグ(SCA)の評価を行ったことを表しています。

3 衝突後の感電保護性能評価試験結果

感電保護性能評価試験を実施し、評価基準に適合したものを表しています。

4 予防安全性能評価の結果

予防安全性能評価を実施した結果を、「ASV」、「ASV+」、「ASV++」で表しています。

5 衝突安全性能評価ファイブスター賞

衝突安全性能評価において最高評価(★★★★★)を受けた車種を表しています。

6 衝突安全性能評価結果

歩行者保護性能評価、乗員保護性能評価、シートベルトの着用警報装置評価の得点をもとに★の数を表示しています。(5段階評価)

★の数が多いほど、乗員や歩行者に対する傷害は軽くなります。なお、平成23年度以降に試験を実施した車種について表示しています。

7 歩行者頭部保護性能試験の結果

試験結果を5段階で表示し、レベルの数値が大きいほど歩行者頭部保護性能が高いことを表しています。

8 歩行者脚部保護性能試験の結果

試験結果を5段階で表示し、レベルの数値が大きいほど歩行者脚部保護性能が高いことを表しています。

なお、平成27年度までは試験結果を4段階で表示しています。

9 歩行者保護性能評価の得点

歩行者頭部保護性能試験と歩行者脚部保護性能試験をもとに100点満点で表しています。

10 前面・側面衝突試験の結果

試験結果を5段階で表示し、レベルの数値が大きいほど乗員保護性能が高いことを表しています。

ルーミー	18
ルーミー (SCA 付)	16
C-HR	14
JPN TAXI	16
SAI	20
86	18

日産

ウイングロード	26
エクストレイル	24
エルグランド	24
キューブ	26
ジューク	26
シルフィ	24
セレナ	24
ティアナ	22
デイズ	24
デイズ ハイウェイスター	24
デイズ ルークス	26
デイズ ルークス ハイウェイスター	26
ノート	24
パネットバン	38
マーチ	26
リーフ	24
AD	36
AD エキスパート	36
NV100 クリッパー	32
NV100 クリッパーリオ	32
NV200 パネット	36

ホンダ

アコード ハイブリッド	28
-------------	----

ヴェゼル	26
グレイス	28
シビック	28
シャトル	28
ジェイド	28
ステップワゴン	28
パモス	30
フィット	30
フリード	30
フリード+	30
N-BOX	26
N-BOX カスタム	26
N-ONE	30
N-WGN	28
N-WGN カスタム	28

マツダ

アクセラ	14
アテンザ	14
キャロル	34
スクラム	32
デミオ	14
ファミリアバン	38
フレア	32
フレア クロスオーバー	32
フレアワゴン	32
フレアワゴン カスタムスタイル	32
ボンゴバン	38
CX-3	14
CX-5	14
CX-8	12

三菱

アウトランダー	22
アウトランダー PHEV	22
タウンボックス	32
デリカ	22
デリカ D:2	32
デリカ D:2 カスタム	32
ミニキャブ	32
ミラージュ	22
eKカスタム	24
eKスペースカスタム	26
eKスペース	26
eKワゴン	24
RVR	22

レクサス

CT200h	30
--------	----

アウディ

A1	36
----	----

アバルト

500	36
500C	36

フィアット

500	36
500C	36

フォルクスワーゲン

ゴルフ	34
-----	----

参考

悪い ← 良い

5

例

試験等実施当時に試験及び評価の対象外の項目については、グレーアウトとしております。

乗員保護性能評価

11

シートベルトの着用警報装置

14

後席シートベルト使用性評価

16

10

12

13

11

12

13

14

15

16

17

11 乗員保護性能評価の得点

フルラップ前面衝突試験、オフセット前面衝突試験、側面衝突試験及び後面衝突頸部保護性能試験をもとに100点満点で表しています。

12 後面衝突頸部保護性能試験の結果

試験結果を5段階で表示し、レベルの数値が大きいくほど乗員保護性能が高いことを表しています。
平成23年度までは、オレンジ色、黄色、薄緑色、緑色の4段階で表示し、緑色が最も後面衝突頸部保護性能が高いことを表しています。

13 衝突安全性能評価【平成22年度まで】

フルラップ前面衝突試験、オフセット前面衝突試験、側面衝突試験結果の得点をもとに★の数を表しています。(6段階評価)
★の数が多いほど、乗員に対する傷害は軽くなります。
なお、平成23年度以降に評価を実施した車種には表示がありません。
数字の右肩の「+」は試験法に定める基準に適合したサイドカーテンエアバッグが装着されていることを表しています。

14 シートベルトの着用警報装置評価の得点

シートベルトの着用警報装置試験をもとに8点満点で表しています。

15 シートベルトの着用警報装置試験の結果

試験結果を5段階で表示し、レベルの数値が大きいくほど非着用時の警報効果が高いことを表しています。
助手席及び後席ごとのシートベルトの着用警報装置の装備の状況を表しています。

16 後席シートベルト使用性評価の結果

2列目シートのシートベルトのアクセス性、バックルの識別性、バックルのタンクへの挿入性及びシートベルト装着時の快適性について、3段階で表しています。評価段が大きいくほど、シートベルトの使用性評価が高いことを示しています。
赤線はシートポジションが標準位置、青線はシートポジションを前方に移動した位置における評価を表しています。

17 後席中央3点式シートベルトの装備状況

2列目シートの中央席に3点式シートベルトが装着されていることを表しています。
中央席がない場合はこの表示はありません。

○：装備あり
-：装備なし

衝突安全性能&予防安全性能 最高評価 (★★★★★&ASV++) 取得車種一覧

車種	衝突安全性能評価	予防安全性能評価
スバル インプレッサ/ XV	 ★★★★★ 199.7点	 2016 予防安全性能 ASV++ AWARD JNCAP (日本自動車連盟)
マツダ CX-8	 ★★★★★ 193.9点	 2017 予防安全性能 ASV++ AWARD JNCAP (日本自動車連盟)
トヨタ クラウン アスリート/ クラウン ロイヤル	 ★★★★★ 189.7点	 2016 予防安全性能 ASV++ AWARD JNCAP (日本自動車連盟)
スバル レガシィ	 ★★★★★ 188.8点	 2016 予防安全性能 ASV++ AWARD JNCAP (日本自動車連盟)
マツダ CX-5	 ★★★★★ 187.3点	 2017 予防安全性能 ASV++ AWARD JNCAP (日本自動車連盟)
トヨタ C-HR	 ★★★★★ 185.8点	 2017 予防安全性能 ASV++ AWARD JNCAP (日本自動車連盟)
マツダ アクセラ	 ★★★★★ 185.1点	 2016 予防安全性能 ASV++ AWARD JNCAP (日本自動車連盟)

車種

衝突安全性能評価

予防安全性能評価

三菱

アウトランダーPHEV/
アウトランダー



★★★★★
184.6点



ホンダ

N-BOX/
N-BOX カスタム



★★★★★
184.1点



スバル

レヴォーグ/
WRX



★★★★★
183.8点



ホンダ

ヴェゼル



★★★★★
183.7点



トヨタ

プリウス/
プリウスPHV



★★★★★
183.6点



スバル

フォレスター
(SCA付)



★★★★★
181.9点



ホンダ

ステップワゴン



★★★★★
180.9点



ホンダ

シビック



★★★★★
180.8点



車種

衝突安全性能評価

予防安全性能評価

トヨタ
ハリアー



★★★★★
178.8点



スズキ
スイフト



★★★★★
178.3点



ホンダ
フィット



★★★★★
178.0点



ホンダ
フリード/
フリード+



★★★★★
177.2点



日産
セレナ
スズキ
ランディ



★★★★★
175.8点



スバル
フォレスター



★★★★★
174.6点



試験項目の充実と変遷

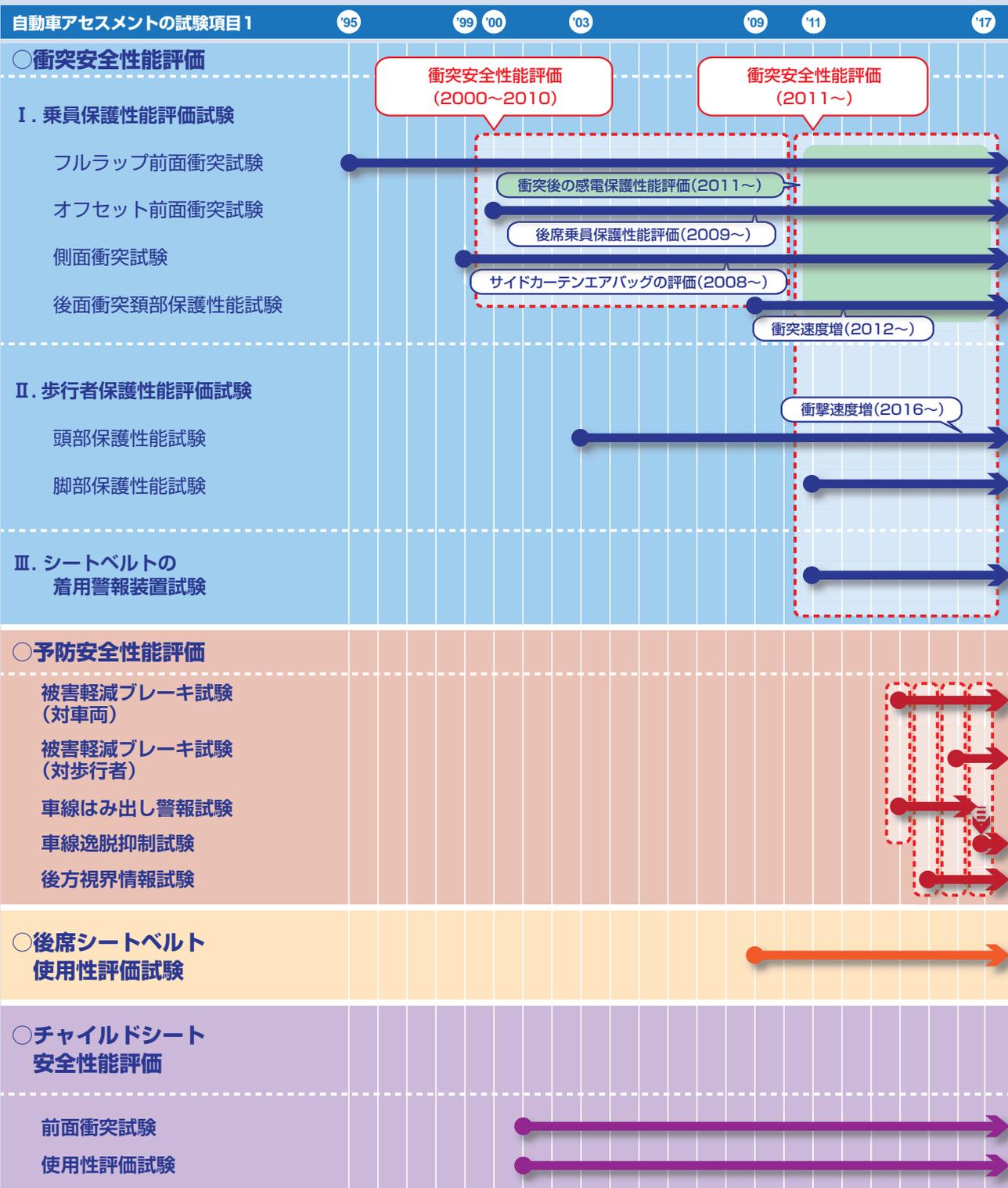
平成7年に実施した試験項目は、フルラップ前面衝突試験でしたが、乗員保護性能向上のため側面衝突試験やオフセット前面衝突試験が追加され、平成12年度からは衝突安全性能評価が開始されました。

また、歩行者保護の観点から頭部保護性能試験が平成15年から開始されるとともに、平成23年には脚部保護性能試験が追加されました。このため、乗員保護性能に歩行者保護性能を加えた衝突安全性能評価が平成23年度から開始されました。

その他にも自動車アセスメント充実のため、後席シートベルト使用性評価試験等様々な試験が実施されています。

なお、平成26年度からは、さらなる死傷者数の削減を目的として、予防安全性能評価が開始されました（詳しくは、「予防安全性能評価」パンフレットあるいはホームページをご覧ください）。

自動車アセスメントの歴史



衝突安全性能評価結果

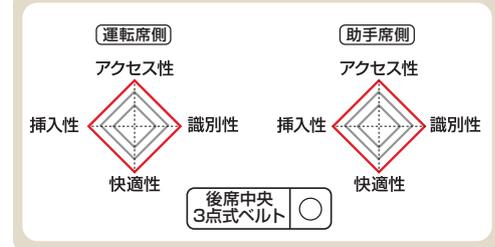
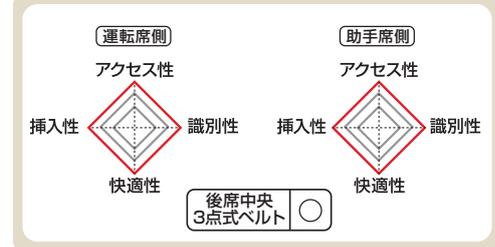
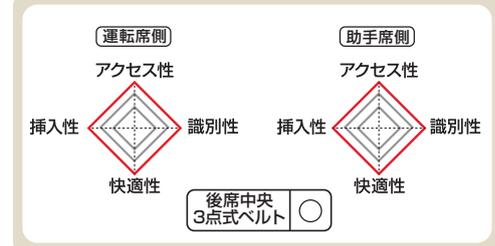
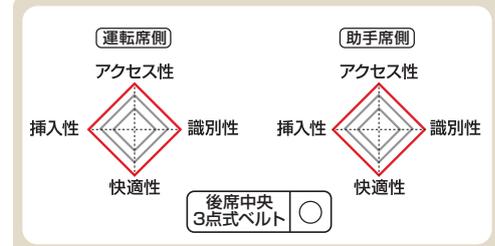
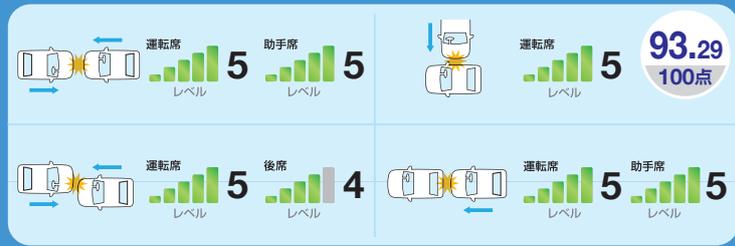
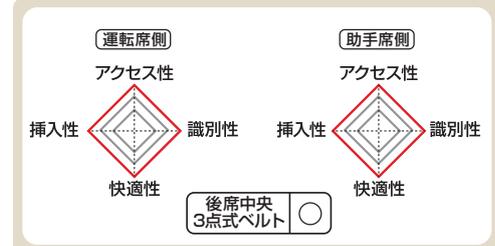
車種		衝突安全性能評価		歩行者保護性能評価	
乗用車	スバル インプレッサ/XV		199.7点※	96.07 100点	5
乗用車	スバル レガシイ		188.8点	89.59 100点	5
乗用車	スバル レヴォーグ/WRX		183.8点	86.91 100点	5
乗用車	スバル フォレスター(SCA付)		181.9点	85.46 100点	5
乗用車	スバル フォレスター		174.6点	85.46 100点	5
乗用車	スバル エクシーガ		平成22年度以前の 評価車種です。		5
乗用車	マツダ CX-8		193.9点※	90.23 100点	5

※歩行者保護性能評価の変更に伴い、平成23年度から平成27年度までの衝突安全性能評価と同等となるように補正係数を掛けています。

乗員保護性能評価

シートベルトの着用警報装置

後席シートベルト使用性評価



運転席 ★★★★★★ 6 助手席 ★★★★★★ 6 ※

※平成22年度までの評価方法。フルラップ前面衝突試験、オフセット前面衝突試験、側面衝突試験結果の合計点数で評価を行っていました。

車種

衝突安全性能評価

歩行者保護性能評価

乗用車

マツダ CX-3



188.2点



91.62
100点



乗用車

マツダ CX-5



187.3点※



81.12
100点



平成
29
年度

乗用車

マツダ デミオ



185.7点



88.50
100点



電気自動車等

マツダ アクセラ



185.1点



88.26
100点



乗用車

マツダ アテンザ



183.2点



86.20
100点



電気自動車等

トヨタ クラウン アスリート/クラウン ロイヤル



189.7点



92.74
100点



電気自動車等

トヨタ C-HR



185.8点※



82.71
100点



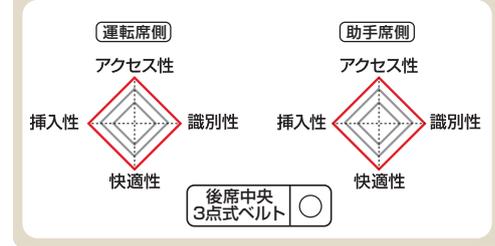
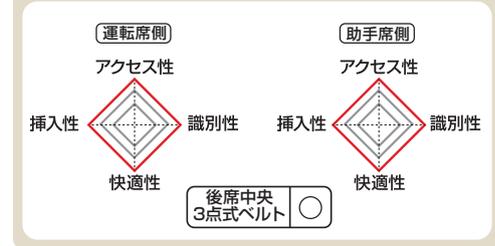
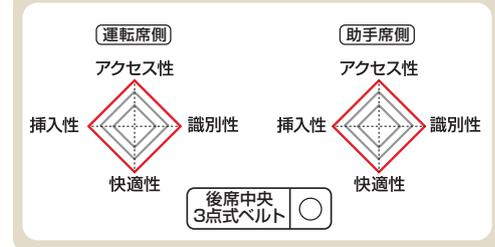
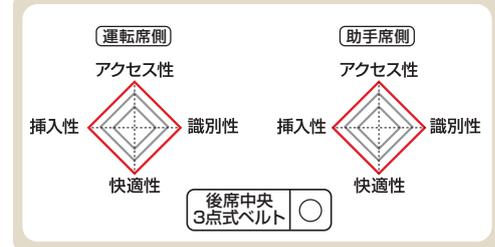
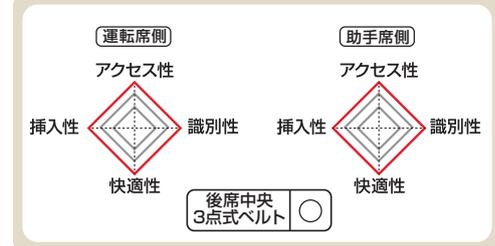
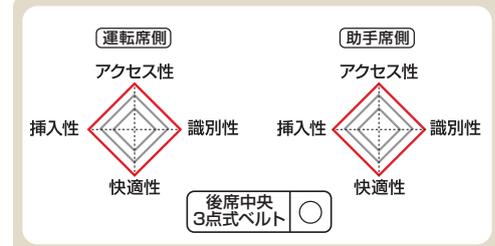
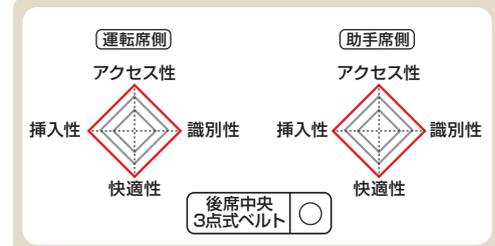
平成
29
年度

※歩行者保護性能評価の変更に伴い、平成23年度から平成27年度までの衝突安全性能評価と同等となるように補正係数を掛けています。

乗員保護性能評価

シートベルトの着用警報装置

後席シートベルト使用性評価



車種

衝突安全性性能評価

歩行者保護性能評価

電気自動車等 トヨタ プリウス/プリウスPHV



183.6点*

歩行者保護性能評価: 80.58 / 100点

衝突安全性性能評価: レベル 4

歩行者保護性能評価: レベル 5

平成29年度

電気自動車等 トヨタ JPN TAXI



182.9点*

歩行者保護性能評価: 78.59 / 100点

衝突安全性性能評価: レベル 4

歩行者保護性能評価: レベル 5

乗用車 トヨタ ヴォクシー/ノア/エスクァイア(SCA付)



182.3点

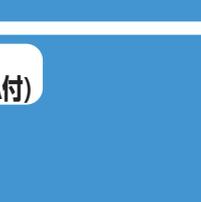
歩行者保護性能評価: 87.42 / 100点

衝突安全性性能評価: レベル 5

歩行者保護性能評価: レベル 4

平成29年度

乗用車 トヨタ ルーミー/タンク(SCA付) / ダイハツ トール(SCA付) / スバル ジャスティ(SCA付)



180.3点*

歩行者保護性能評価: 78.70 / 100点

衝突安全性性能評価: レベル 4

歩行者保護性能評価: レベル 5

乗用車 トヨタ パッツ(SCA付) / ダイハツ プーン(SCA付)



179.2点*

歩行者保護性能評価: 71.78 / 100点

衝突安全性性能評価: レベル 4

歩行者保護性能評価: レベル 3

乗用車 トヨタ ハリアー



178.8点

歩行者保護性能評価: 84.79 / 100点

衝突安全性性能評価: レベル 4

歩行者保護性能評価: レベル 4

乗用車 トヨタ ヴェルファイア/アルファード



178.4点*

歩行者保護性能評価: 73.99 / 100点

衝突安全性性能評価: レベル 4

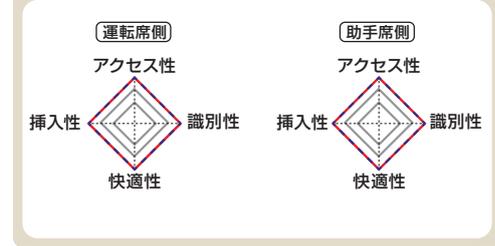
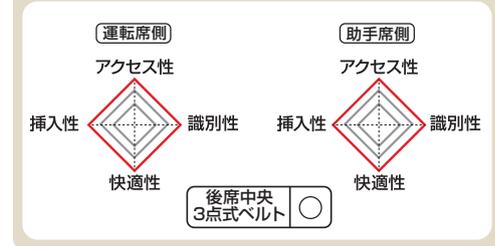
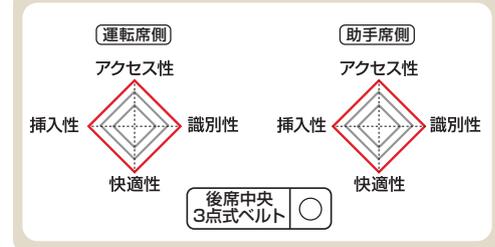
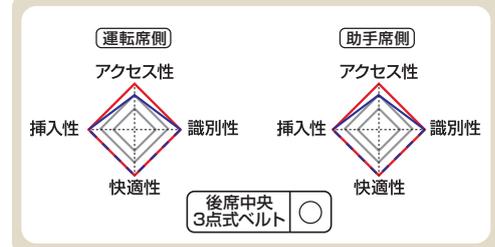
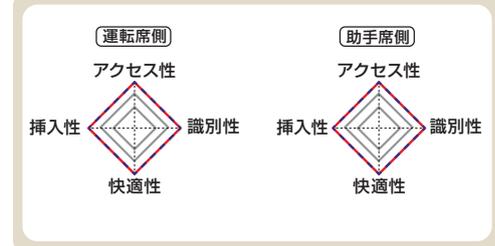
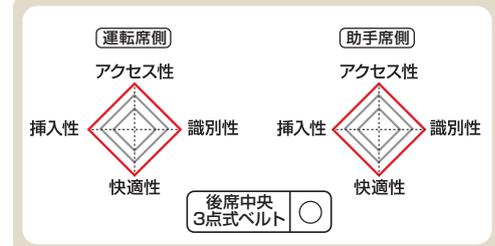
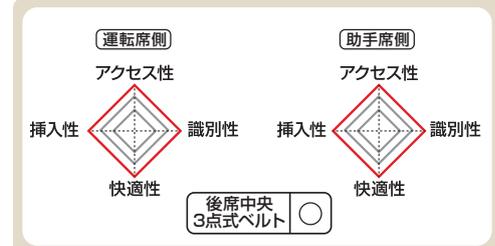
歩行者保護性能評価: レベル 5

*歩行者保護性能評価の変更に伴い、平成23年度から平成27年度までの衝突安全性性能評価と同等となるように補正係数を掛けています。

乗員保護性能評価

シートベルトの着用警報装置

後席シートベルト使用性評価



車種

衝突安全性能評価

歩行者保護性能評価

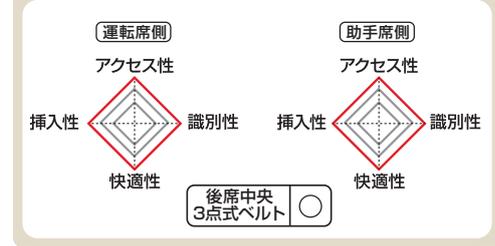
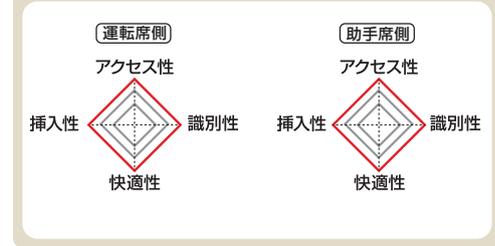
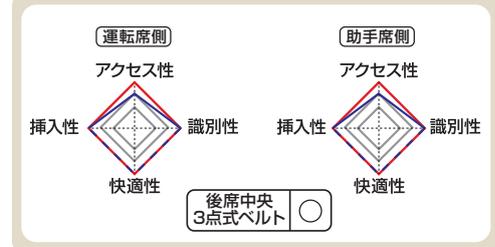
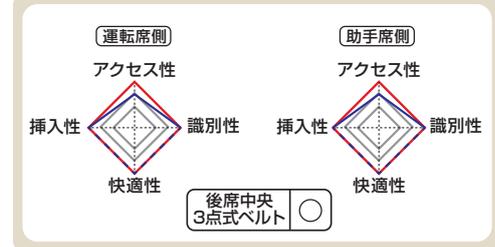
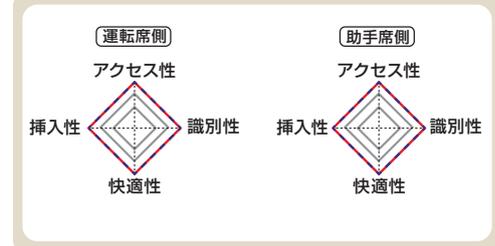
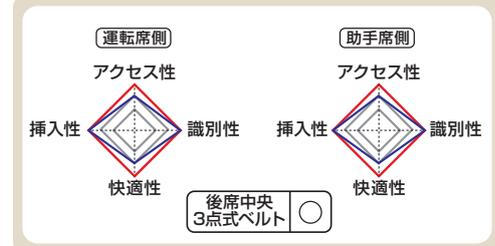
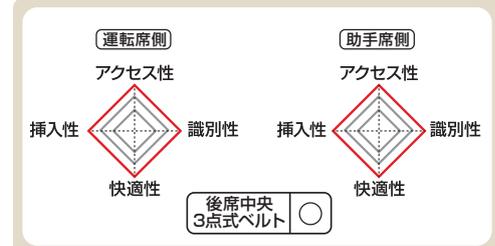
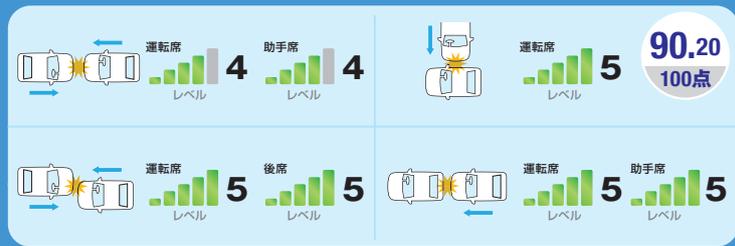
<p>乗用車</p> <p>トヨタ カローラ フィールダー/カローラ アクシオ</p>   	<p>178.4点</p>	<p>84.27 100点</p> <p>レベル 4</p> <p>レベル 4</p>
<p>電気自動車等</p> <p>トヨタ シエンタ(SCA付)</p>   	<p>175.8点</p>	<p>79.91 100点</p> <p>レベル 4</p> <p>レベル 4</p>
<p>乗用車</p> <p>トヨタ ヴォクシー/ノア/エスクァイア</p>   	<p>175.0点</p>	<p>87.42 100点</p> <p>レベル 5</p> <p>レベル 4</p>
<p>電気自動車等</p> <p>トヨタ プリウスα</p>   	<p>173.1点</p>	<p>81.39 100点</p> <p>レベル 4</p> <p>レベル 4</p>
<p>乗用車</p> <p>トヨタ ルーミー/タンク ダイハツ トール スバル ジャスティ</p>  	<p>169.6点※</p>	<p>78.70 100点</p> <p>レベル 4</p> <p>レベル 5</p>
<p>乗用車</p> <p>トヨタ 86 スバル BRZ</p>  	<p>168.8点</p>	<p>82.49 100点</p> <p>レベル 4</p> <p>レベル 4</p>
<p>乗用車</p> <p>トヨタ パッツン ダイハツ ブーン</p>  	<p>168.5点※</p>	<p>71.78 100点</p> <p>レベル 4</p> <p>レベル 3</p>

※歩行者保護性能評価の変更に伴い、平成23年度から平成27年度までの衝突安全性能評価と同等となるように補正係数を掛けています。

乗員保護性能評価

シートベルトの着用警報装置

後席シートベルト使用性評価



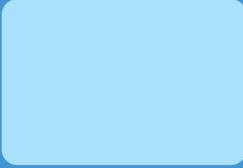
車種

衝突安全性能評価

歩行者保護
性能評価



トヨタ スペイド/ポルテ



167.2点



81.65
100点



トヨタ シエンタ



166.8点



79.91
100点



トヨタ ヴィッツ



166.5点



82.05
100点



トヨタ アクア



165.3点



82.25
100点



トヨタ ランドクルーザープラド



平成22年度以前の
評価車種です。



トヨタ SAI



平成22年度以前の
評価車種です。



トヨタ マークX



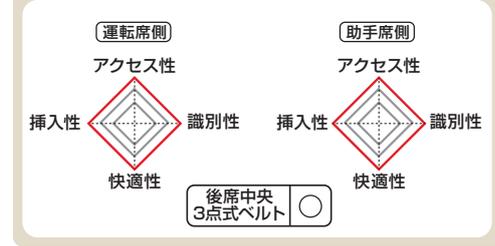
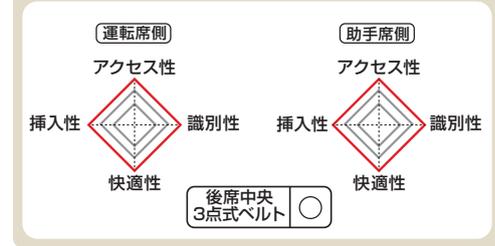
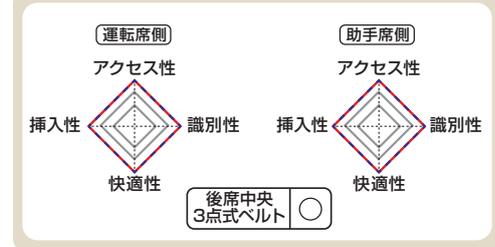
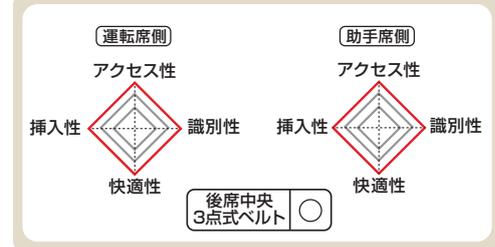
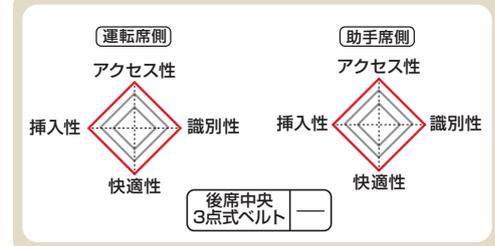
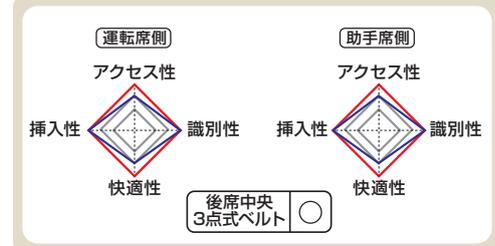
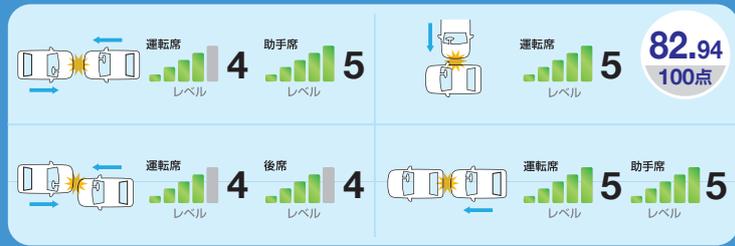
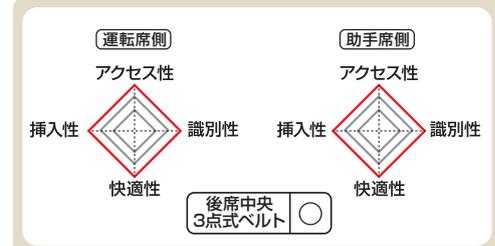
平成22年度以前の
評価車種です。



乗員保護性能評価

シートベルトの着用警報装置

後席シートベルト使用性評価



※平成22年度までの評価方法。フルラップ前面衝突試験、オフセット前面衝突試験、側面衝突試験結果の合計点数で評価を行っていました。

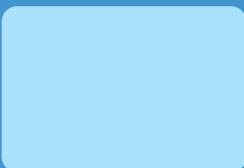
車種

衝突安全性能評価

歩行者保護性能評価



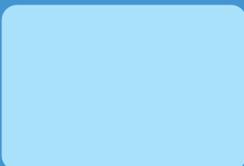
トヨタ プレミオ/アリオン



平成22年度以前の
評価車種です。



トヨタ エスティマ



平成22年度以前の
評価車種です。



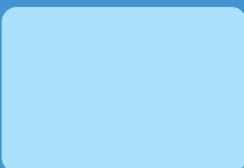
三菱 アウトランダー PHEV/アウトランダー



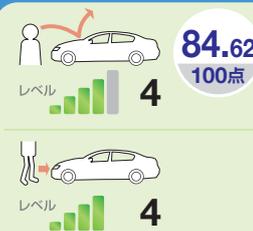
★★★★★
184.6点



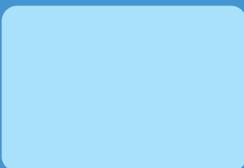
三菱 ミラージュ



★★★★☆
163.4点



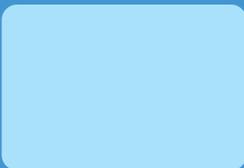
三菱 RVR



平成22年度以前の
評価車種です。



三菱 デリカ



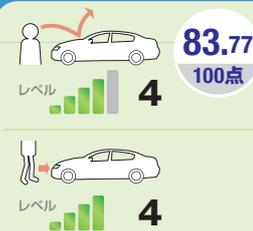
平成22年度以前の
評価車種です。



日産 ティアナ



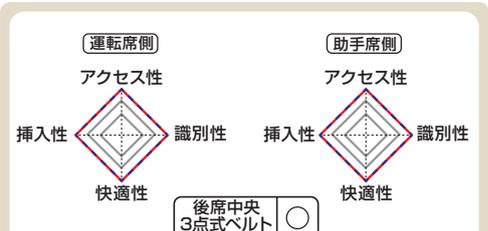
★★★★★
184.4点



乗員保護性能評価

シートベルトの着用警報装置

後席シートベルト使用性評価



※平成22年度までの評価方法。フルラップ前面衝突試験、オフセット前面衝突試験、側面衝突試験結果の合計点数で評価を行っていました。

車種

衝突安全性能評価

歩行者保護性能評価

平成29年度

電気自動車等 **日産 リーフ**



★★★★★
179.4点※

歩行者保護性能評価
レベル 3
乗員保護性能評価
レベル 5
67.82 / 100点

乗用車 **日産 セレナ スズキ ランディ**



★★★★★
175.8点※

歩行者保護性能評価
レベル 4
乗員保護性能評価
レベル 5
75.06 / 100点

乗用車 **日産 エルグランド**



★★★★★
173.1点

歩行者保護性能評価
レベル 4
乗員保護性能評価
レベル 4
82.71 / 100点

乗用車 **日産 エクストレイル**



★★★★☆
173.0点

歩行者保護性能評価
レベル 5
乗員保護性能評価
レベル 4
88.38 / 100点

乗用車 **日産 シルフィ**



★★★★☆
162.9点

歩行者保護性能評価
レベル 4
乗員保護性能評価
レベル 4
85.27 / 100点

乗用車 **日産 ノート**



★★★★☆
162.3点

歩行者保護性能評価
レベル 4
乗員保護性能評価
レベル 4
81.27 / 100点

軽自動車 **日産 デイズ ハイウェイスター/デイズ 三菱 eKカスタム/eKワゴン**



★★★★☆
161.8点

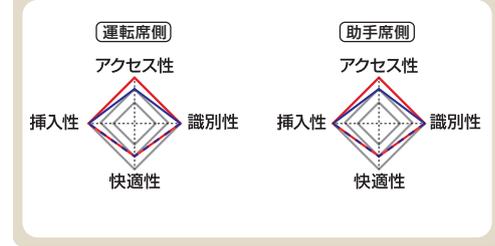
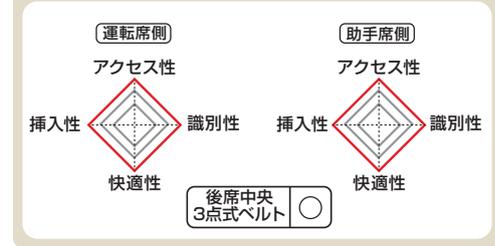
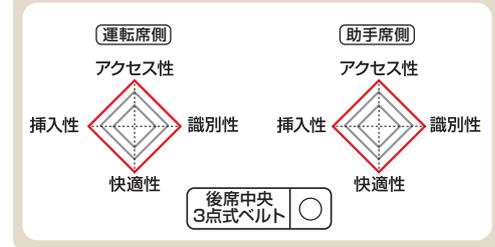
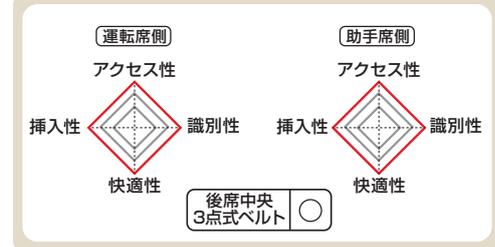
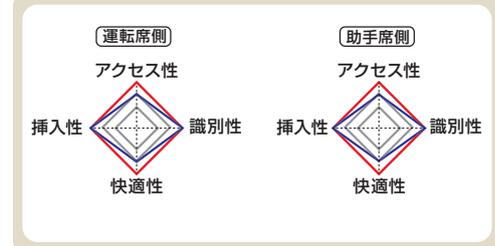
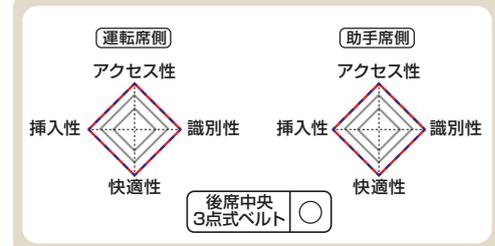
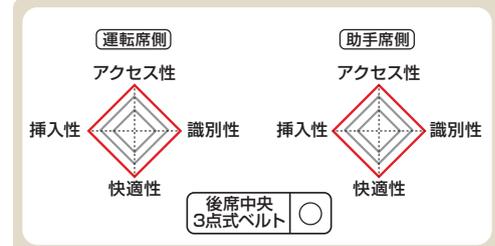
歩行者保護性能評価
レベル 4
乗員保護性能評価
レベル 4
80.01 / 100点

※歩行者保護性能評価の変更に伴い、平成23年度から平成27年度までの衝突安全性能評価と同等となるように補正係数を掛けています。

乗員保護性能評価

シートベルトの着用警報装置

後席シートベルト使用性評価

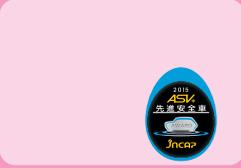


車種

衝突安全性能評価

歩行者保護性能評価

軽自動車 日産 デイズルークスハイウェイスター/デイズルークス
三菱 eKスペースカスタム/eKスペース



159.5点



乗用車 日産 キューブ



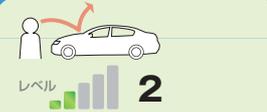
平成22年度以前の
評価車種です。



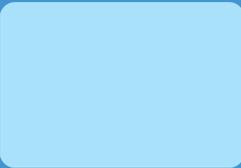
乗用車 日産 ウィングロード



平成22年度以前の
評価車種です。



乗用車 日産 ジューク



平成22年度以前の
評価車種です。



乗用車 日産 マーチ



平成22年度以前の
評価車種です。



軽自動車 ホンダ N-BOX/N-BOX カスタム

平成
29
年度



184.1点*



電気自動車等 ホンダ ヴェゼル



183.7点

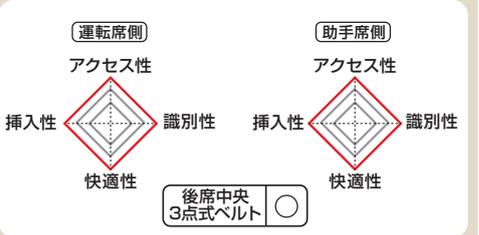
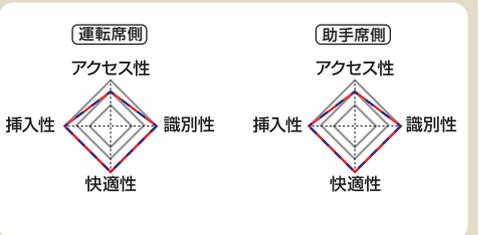
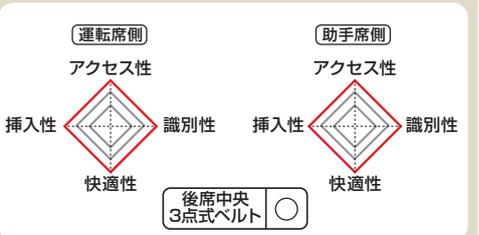
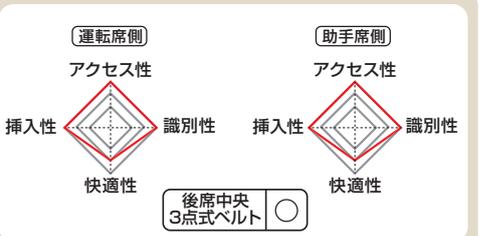
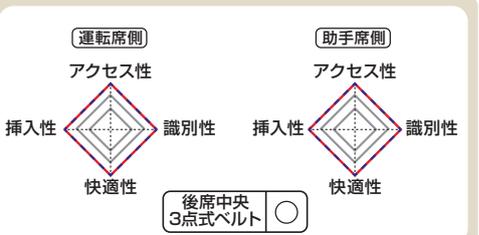
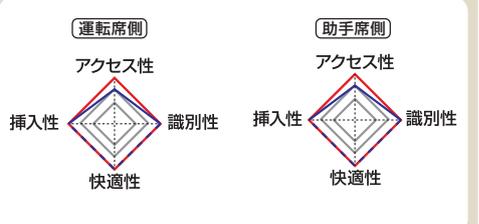
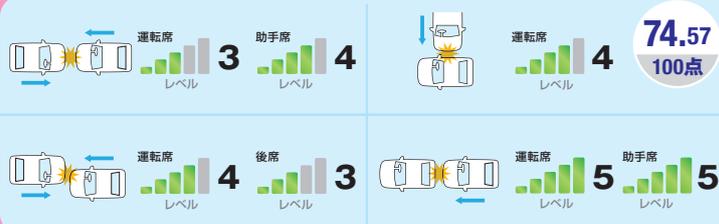


*歩行者保護性能評価の変更に伴い、平成23年度から平成27年度までの衝突安全性能評価と同等となるように補正係数を掛けています。

乗員保護性能評価

シートベルトの着用警報装置

後席シートベルト使用性評価

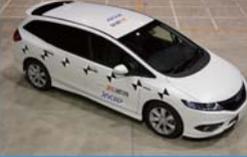


※平成22年度までの評価方法。フルラップ前面衝突試験、オフセット前面衝突試験、側面衝突試験結果の合計点数で評価を行っていました。

車種

衝突安全性能評価

歩行者保護性能評価

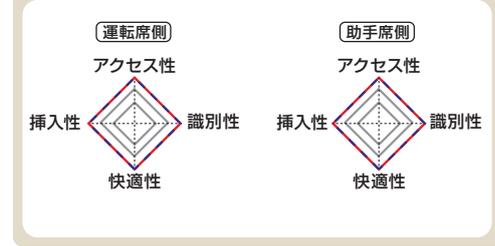
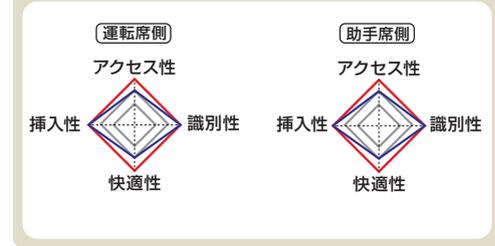
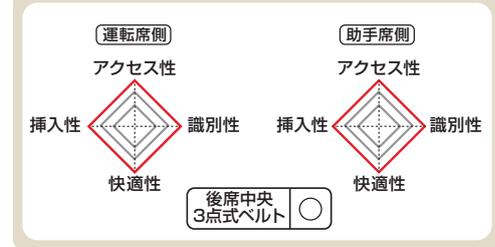
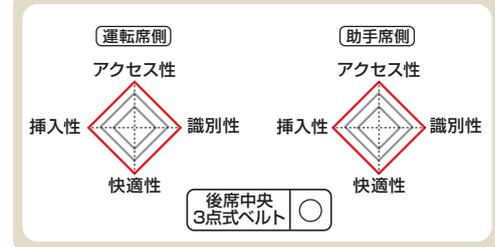
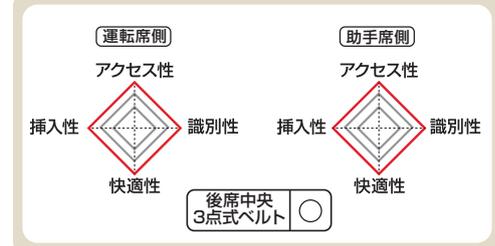
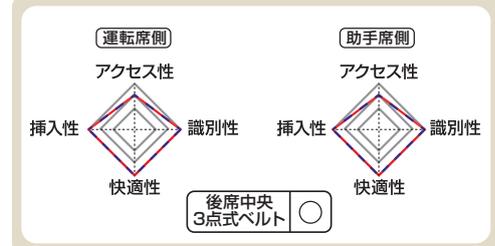
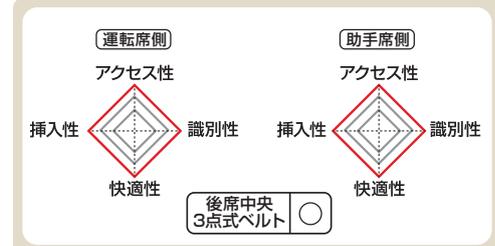
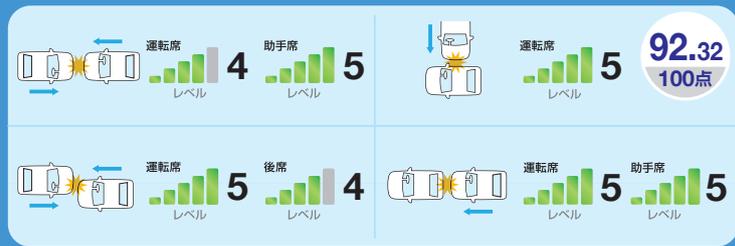
<p>電気自動車等</p> <p>ホンダ グレイス</p> 	 		<p>181.0点</p> 	<p>84.70 100点</p>  <p>レベル 4</p>  <p>レベル 4</p>
<p>平成29年度</p> <p>電気自動車等</p> <p>ホンダ ステップワゴン</p> 	  		<p>180.9点*</p> 	<p>77.21 100点</p>  <p>レベル 4</p>  <p>レベル 5</p>
<p>平成29年度</p> <p>乗用車</p> <p>ホンダ シビック</p> 	  		<p>180.8点*</p> 	<p>69.49 100点</p>  <p>レベル 4</p>  <p>レベル 3</p>
<p>電気自動車等</p> <p>ホンダ シャトル</p> 	  		<p>180.1点</p> 	<p>82.71 100点</p>  <p>レベル 4</p>  <p>レベル 4</p>
<p>電気自動車等</p> <p>ホンダ アコード ハイブリッド</p> 	 		<p>178.9点</p> 	<p>79.46 100点</p>  <p>レベル 4</p>  <p>レベル 4</p>
<p>軽自動車</p> <p>ホンダ N-WGN/N-WGN カスタム</p> 	  		<p>178.8点</p> 	<p>85.50 100点</p>  <p>レベル 4</p>  <p>レベル 4</p>
<p>電気自動車等</p> <p>ホンダ ジェイド</p> 	  		<p>178.2点</p> 	<p>82.50 100点</p>  <p>レベル 4</p>  <p>レベル 4</p>

*歩行者保護性能評価の変更に伴い、平成23年度から平成27年度までの衝突安全性能評価と同等となるように補正係数を掛けています。

乗員保護性能評価

シートベルトの着用警報装置

後席シートベルト使用性評価



車種

衝突安全性能評価

歩行者保護性能評価

電気自動車等 **ホンダ フィット**






2013-2014 JNCAP FIVE STAR AWARD
衝突安全性能総合評価
JNCAP
ファイブスター賞

178.0点

歩行者保護性能評価: 81.41 / 100点
乗員保護性能評価: レベル 4

電気自動車等 **ホンダ フリード/フリード+**





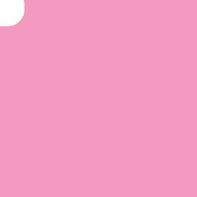

2016 JNCAP FIVE STAR AWARD
衝突安全性能総合評価
JNCAP
ファイブスター賞
自動車プロセメント

177.2点*

歩行者保護性能評価: 72.73 / 100点
乗員保護性能評価: レベル 4

軽自動車 **ホンダ N-ONE**



2016 JNCAP FOUR STAR AWARD
衝突安全性能総合評価
JNCAP
ファイブスター賞

161.5点

歩行者保護性能評価: 77.83 / 100点
乗員保護性能評価: レベル 3

軽自動車 **ホンダ バモス**



平成22年度以前の
評価車種です。

歩行者保護性能評価: レベル 4
乗員保護性能評価: レベル 4

電気自動車等 **レクサス CT200h**






2012-2013 JNCAP FIVE STAR AWARD
衝突安全性能総合評価
JNCAP
ファイブスター賞

179.6点

歩行者保護性能評価: 83.35 / 100点
乗員保護性能評価: レベル 4

乗用車 **スズキ スイフト**



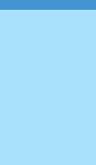


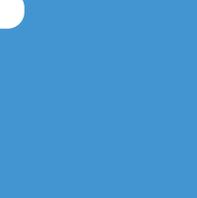

2017 JNCAP FIVE STAR AWARD
衝突安全性能総合評価
JNCAP
ファイブスター賞
自動車プロセメント

178.3点*

歩行者保護性能評価: 78.87 / 100点
乗員保護性能評価: レベル 4

乗用車 **スズキ イグニス**



2014 JNCAP FOUR STAR AWARD
衝突安全性能総合評価
JNCAP
ファイブスター賞

164.6点*

歩行者保護性能評価: 76.97 / 100点
乗員保護性能評価: レベル 4

平成
29
年度

*歩行者保護性能評価の変更に伴い、平成23年度から平成27年度までの衝突安全性能評価と同等となるように補正係数を掛けています。

乗員保護性能評価

シートベルトの着用警報装置

後席シートベルト使用性評価

乗員保護性能評価 (92.59/100点)

運転席レベル: 5, 助手席レベル: 4

運転席レベル: 5, 後席レベル: 5

シートベルト着用警報装置: 4.00 (8点)

レベル: 2

助手席 後席

後席シートベルト使用性評価

運転席側: 操作性, 識別性, 快適性

助手席側: 操作性, 識別性, 快適性

後席中央3点式ベルト:

乗員保護性能評価 (90.12/100点)

運転席レベル: 4, 助手席レベル: 5

運転席レベル: 5, 後席レベル: 4

シートベルト着用警報装置: 4.00 (8点)

レベル: 2

助手席 後席

後席シートベルト使用性評価

運転席側: 操作性, 識別性, 快適性

助手席側: 操作性, 識別性, 快適性

後席中央3点式ベルト:

乗員保護性能評価 (79.71/100点)

運転席レベル: 2, 助手席レベル: 4

運転席レベル: 4, 後席レベル: 3

シートベルト着用警報装置: 4.00 (8点)

レベル: 2

助手席 後席

後席シートベルト使用性評価

運転席側: 操作性, 識別性, 快適性

助手席側: 操作性, 識別性, 快適性

後席中央3点式ベルト:

乗員保護性能評価 (3)

運転席レベル: 1, 助手席レベル: 3

運転席レベル: 3, 助手席レベル: 5

シートベルト着用警報装置: 4.00 (8点)

レベル: 2

助手席 後席

運転席 ★★★★★ 3

助手席 ★★★★★ 3

後席シートベルト使用性評価

運転席側: 操作性, 識別性, 快適性

助手席側: 操作性, 識別性, 快適性

後席中央3点式ベルト:

乗員保護性能評価 (92.31/100点)

運転席レベル: 5, 助手席レベル: 5

運転席レベル: 5, 後席レベル: 4

シートベルト着用警報装置: 4.00 (8点)

レベル: 2

助手席 後席

後席シートベルト使用性評価

運転席側: 操作性, 識別性, 快適性

助手席側: 操作性, 識別性, 快適性

後席中央3点式ベルト:

乗員保護性能評価 (87.80/100点)

運転席レベル: 4, 助手席レベル: 4

運転席レベル: 4, 後席レベル: 5

シートベルト着用警報装置: 4.00 (8点)

レベル: 2

助手席 後席

後席シートベルト使用性評価

運転席側: 操作性, 識別性, 快適性

助手席側: 操作性, 識別性, 快適性

後席中央3点式ベルト:

乗員保護性能評価 (75.19/100点)

運転席レベル: 4, 助手席レベル: 3

運転席レベル: 4, 後席レベル: 3

シートベルト着用警報装置: 4.00 (8点)

レベル: 2

助手席 後席

後席シートベルト使用性評価

運転席側: 操作性, 識別性, 快適性

助手席側: 操作性, 識別性, 快適性

後席中央3点式ベルト:

※平成22年度までの評価方法。フルラップ前面衝突試験、オフセット前面衝突試験、側面衝突試験結果の合計点数で評価を行っていました。

車種

衝突安全性能評価

歩行者保護性能評価

軽自動車 スズキ ワゴンR/ワゴンRスティングレー
マツダ フレア



163.0点※



平成29年度

軽自動車 スズキ ハスラー マツダ フレア クロスオーバー



160.2点



乗用車 スズキ ソリオ/ソリオバンディット
三菱 デリカD:2/デリカD:2カスタム



159.4点



軽自動車 スズキ アルト ラパン



158.4点



軽自動車 スズキ アルト マツダ キャロル



158.2点



軽自動車 スズキ スペースシア/スペースシアカスタム
マツダ フレアワゴン/フレアワゴンカスタムスタイル



157.6点※



平成29年度

軽自動車 スズキ エブリイ 日産 NV100クリッパー-リオ/NV100クリッパー
マツダ スクラム 三菱 タウンボックス/ミニキャブ



148.0点

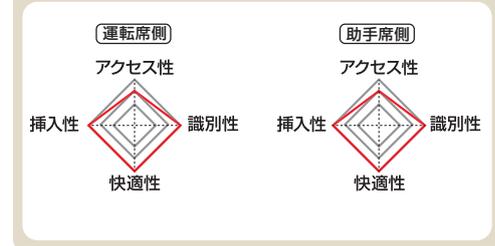
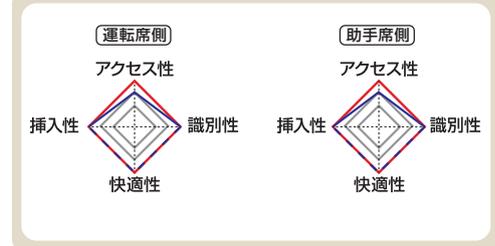
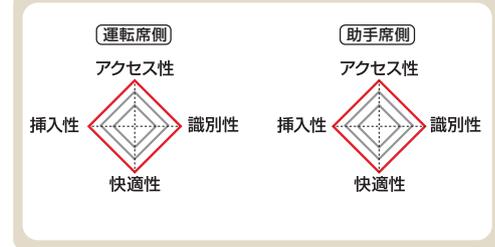
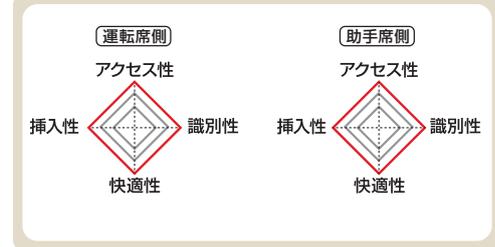
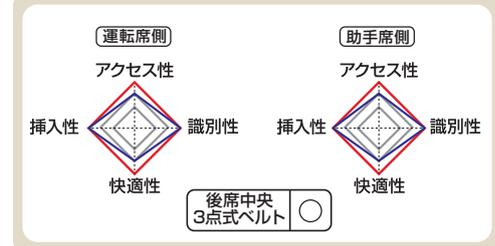
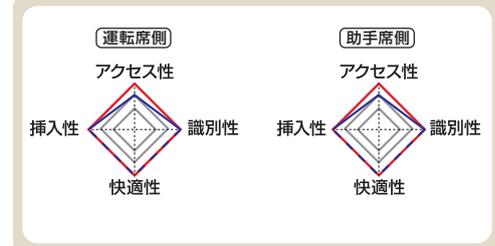
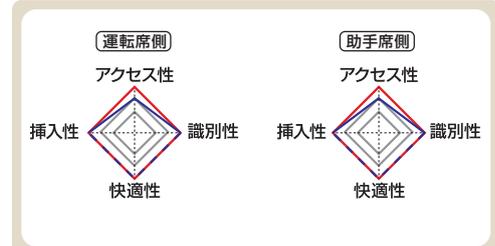


※歩行者保護性能評価の変更に伴い、平成23年度から平成27年度までの衝突安全性能評価と同等となるように補正係数を掛けています。

乗員保護性能評価

シートベルトの着用警報装置

後席シートベルト使用性評価



車種

衝突安全性能評価

歩行者保護性能評価

軽自動車 スズキ ジムニー



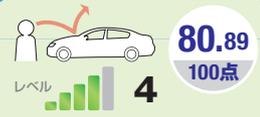
平成22年度以前の
評価車種です。



乗用車 フォルクスワーゲン ゴルフ



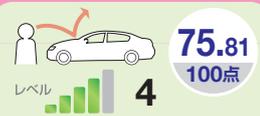
176.7点



軽自動車 ダイハツ キャスト シリーズ
トヨタ ピクシス ジョイ



166.0点*



軽自動車 ダイハツ ミライース スバル プレオ プラス
トヨタ ピクシス エボック

平成
29
年度



165.7点*



軽自動車 ダイハツ ムーヴ カスタム/ムーヴ
スバル ステラ カスタム/ステラ



165.5点



軽自動車 ダイハツ タント カスタム/タント
スバル シフォン カスタム/シフォン



160.5点



軽自動車 ダイハツ ムーヴ キャンバス

平成
29
年度



160.5点*

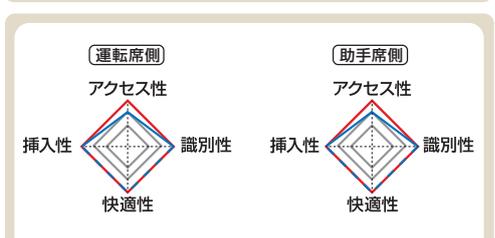
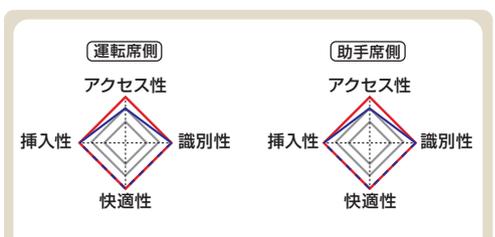
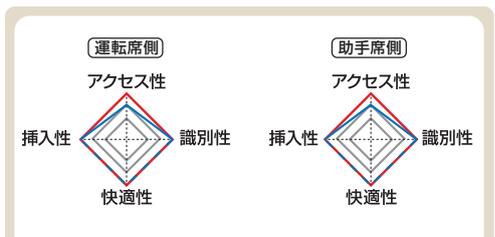
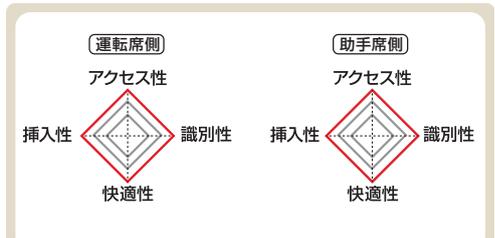
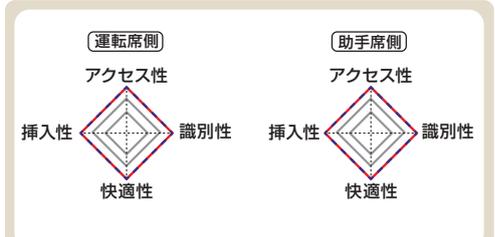
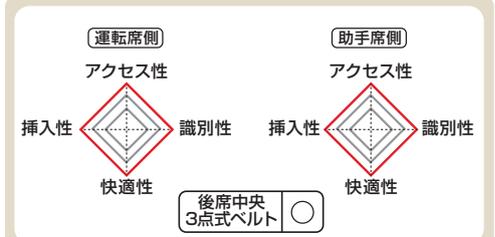


*歩行者保護性能評価の変更に伴い、平成23年度から平成27年度までの衝突安全性能評価と同等となるように補正係数を掛けています。

乗員保護性能評価

シートベルトの着用警報装置

後席シートベルト使用性評価



※平成22年度までの評価方法。フルラップ前面衝突試験、オフセット前面衝突試験、側面衝突試験結果の合計点数で評価を行っていました。

車種

衝突安全性能評価

歩行者保護性能評価

軽自動車 **ダイハツ ウェイク トヨタ ピクシス メガ**



159.2点※



軽自動車 **ダイハツ ハイゼット/アトレーワゴン**



平成22年度以前の
評価車種です。



乗用車 **アウディ A1**



157.9点



乗用車 **フィアット 500/500C
アバルト 500/500C**



138.6点



商用車 **トヨタ プロボックスバン**



平成22年度以前の
評価車種です。



商用車 **日産 NV200 バネット**



平成22年度以前の
評価車種です。



商用車 **日産 AD/ADエキスパート マツダ ファミリアバン**



平成22年度以前の
評価車種です。

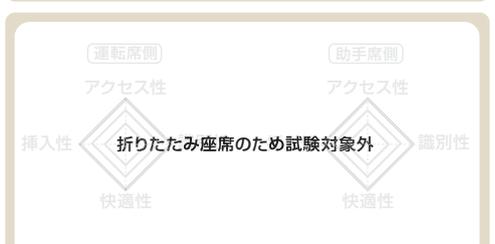
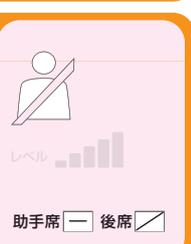
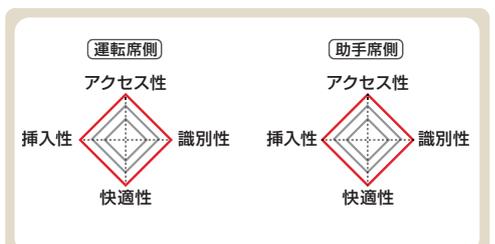
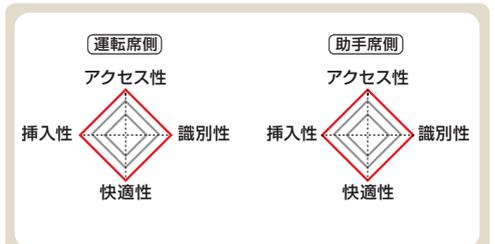
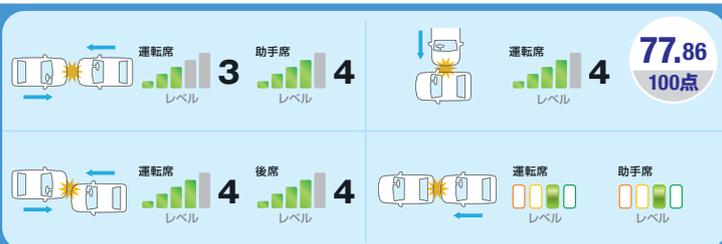
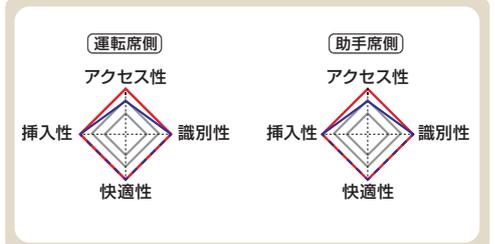


※歩行者保護性能評価の変更に伴い、平成23年度から平成27年度までの衝突安全性能評価と同等となるように補正係数を掛けています。

乗員保護性能評価

シートベルトの着用警報装置

後席シートベルト使用性評価



※平成22年度までの評価方法。フルラップ前面衝突試験、オフセット前面衝突試験、側面衝突試験結果の合計点数で評価を行いました。

車種

衝突安全性能評価

歩行者保護性能評価



日産 バネットバン マツダ ボンゴバン



平成22年度以前の
評価車種です。



自動車アセスメントの各種パンフレット

◆ 予防安全性能評価パンフレット



衝突しそうな場合に自動車が警報を発する、あるいは自動でブレーキをかけるといった、事故を未然に防ぐ予防安全技術の安全性を評価する試験を平成26年度より導入し、その結果を予防安全性能評価として公表しています。

平成26年度の導入以来、評価対象装置を順次追加するなど年々拡充を図っており、平成29年度より新たに車線逸脱抑制装置の評価を開始しました。

予防安全性能評価は多くの皆様に、より安全な自動車を選んでいただくことで交通事故を減らしていこうとするものです。同時にそれぞれの自動車の評価結果を公表することで自動車メーカーに、より安全な自動車の開発を促すものでもあります。

◆ パンフレットの入手方法

自動車アセスメントの各種パンフレットは、自動車事故対策機構の全国50箇所の支所で無料配布しています。また、自動車事故対策機構のホームページ上ですべてご覧になれます。www.nasva.go.jp/mamoru/

乗員保護性能評価

シートベルトの着用警報装置

後席シートベルト使用性評価



※平成22年度までの評価方法。フルラップ前面衝突試験、オフセット前面衝突試験、側面衝突試験結果の合計点数で評価を行いました。

◆ チャイルドシート安全比較BOOK

◆ 事故自動通報システムのリーフレット



市販のチャイルドシートについて、前面衝突試験と使用性について評価試験を行い、その結果を安全性能評価として公表しています。

このパンフレットをご活用いただくことにより、大切なお子さまのために、より安全なチャイルドシートを選んでいただくことを願っています。



近年、生命に危険を及ぼすような重大な交通事故が発生した場合に、救急に必要な情報を自動的に通報する「事故自動通報システム」を備えた自動車が販売されています。

このシステムによって自動的に通報が行われた場合は、事故発生から医師による治療開始までの時間が短縮できるため、交通事故による死者数を減らせる可能性があります。

自動車事故対策機構のホームページでは、事故自動通報システムの搭載車種一覧を掲載しています。

独立行政法人自動車事故対策機構とは



私ども自動車事故対策機構は、人と車の共存を理念として、自動車事故の発生防止及びその被害者への援護のために、次の業務を行っております。



私たちは自動車事故対策の専門機関です。

NASVA(ナスバ)は、自賠責保険・共済の国の運用益事業の主たる実施主体です。

ナスバは、自動車事故被害者を「支える」、自動車事故を「防ぐ」、自動車事故から「守る」の3つの業務を一体的に実施しています。



NASVAとは、独立行政法人自動車事故対策機構の英訳名(National Agency for Automotive Safety & Victims' Aid)の略称で、「ナスバ」と発音します。

試験映像などについてはインターネットでご覧になれます。



独立行政法人 自動車事故対策機構 自動車アセスメント部
〒130-0013 東京都墨田区錦糸3-2-1 アルカイースト19階
TEL:03(5608)7587 FAX:03(5608)8610

ホームページ

www.nasva.go.jp/mamoru/

●キーワード検索で

自動車アセスメント

検索

